



医和 チームワーク



**福山記念病院
広報誌**
2009.SEP
No.3
発行責任者 藤井功

福山記念病院 理念
地域に親しまれ信頼される病院を目指します

基本方針

- 1) 患者様の人権を尊重し、思いやりある医療を行います。
- 2) 安全で快適な医療環境を提供します。
- 3) 新しい医療技術知識の習得に努力します。



福山記念病院 看護部の紹介



看護部長
看護師 田中 綾子

新体制となって、初めての年度（21年度）を迎え5ヶ月が経ちました。
看護部では4月に7名の看護、介護職員を迎え入れました。5ヶ月というと、ようやく病院に慣れた頃だと思います。ナースステーションや廊下で顔を合わせると元気に挨拶をしてくれます。今、彼女たちは必死で覚えようとしているんだろうな。しんどいだろうな。楽しいと思ってくれているだろうか？私にもあんな時期があったな...などと色んなことを思いながら若い頃、お世話になった先輩看護師、師長、同僚を思い出します。新職員のマンパワーが充分活かせるよう、教育の環境を整えサポート体制が確立するよう頑張ろうと思います。その第一歩として認定看護師、専門看護師の推進に力を入れ、スタッフのモチベーションが上昇することを目指したいと思います。

さて、当院は5月末に、病院機能評価（VER5.0）を受審致しました。新規の受審のため、何をどのように対応すればいいのかわからず、暗中模索のまま受審したという感じでした。

結果は、現在中間報告が届き、指摘事項に対して再検討をしているところです。すでに、認定をもらっている病院の方とお話をしてみると「大変だったけど、皆が同じ方向に向かっていったのが良かった。」と聞きました。確かに、医療人としてのあるべき姿を改めて認識することが出来、スタッフ間の意見が一致すると、些細なことで嬉しくなったことを思い出します。しかし、全てが良い方向へ向かったわけではなく、「本当にこれが、必要な事なのか」と、意見のぶつかり合いもありました。でも、普段それほど意見を交わすこともなく、日々の業務が経過しているのが現状で、この機能評価受審をきっかけに、意見を出し合い、業務の見直しをし、その結果改善に向かったことは良かったと思います。

取り組んだ内容、マニュアル化したもの、指摘、改善されたことが継続され、実績として残っていくよう地道に努力してまいります。

★CONTENTS★

【特集】

看護部の紹介

..... PAGE 1- 2

■ 看護部長の挨拶

..... PAGE 1

■ 各師長の挨拶

..... PAGE 2

■ ドクターズ コラム

院内発表研修会

..... PAGE 3

看護部 理念

患者様に信頼され、満足していただける
看護・介護を実践します。

基本方針

- 1 患者様一人一人の人権を尊重し、心のこもった看護、介護を提供します。
- 2 患者様の安全と安楽に配慮した、技術・環境を提供します。
- 3 自己の人間性と専門知識の向上に努めます。

発行者：福山記念病院 広報委員会

住 所：〒721-0964

広島県福山市港町一丁目 15 番 30 号

TEL:084-922-0998 FAX:084-922-0169

ホームページ <http://www.kbk-group.or.jp/>

各病棟の紹介

5病棟

5 階病棟は亜急性期 10 床を含む 31 床の一般病棟です。

スタッフは看護師 15 名、介護士 10 名で働いています。

平均在院日数は 16 日前後という入院期間ですが、できるだけ患者さんのニーズに応えられるようにコミュニケーションを大切にしています。当院では、高齢の入院患者が多く、暖かい心と笑顔で安心できる入院生活を過ごしていただけるようにスタッフ一同頑張っています。また、安全な医療と看護の提供を目指して、病棟内での勉強会を行っています。

共に学び、教えあうことで看護の質の向上に努力しています。

看護師長 太田 久美子



4病棟

回復期リハビリテーション病棟とは、脳血管疾患又は大腿骨頸部骨折等の患者さんに対して、日常生活動作能力の向上による寝たきり防止と家庭復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に行うための病棟です。医師・看護師・介護士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士など他職種と協力し、全身管理、再発予防、患者さんの持っている能力を活かして日常生活の向上に努めています。そして、ご家族とコミュニケーションをとり基本的動作、食事、排泄などの身の周りの動作が自立できるように援助を行っています。リハビリの一部として病棟内でのレクリエーションを行っています。

回復期リハビリテーション病棟では在院日数が限られています。その中で、入院生活が安全で安心して送れるようにそして在宅復帰ができるように他職種の方と連携を図り支援していきたいと思えます。

看護師長 小川 多美江



3病棟

3 階病棟は医療療養病棟で、病床数 36 床の病棟です。病棟スタッフは、病棟師長を含む看護師 12 名と介護士 12 名の合計 24 名です。

入院されている患者さんの多くが脳血管疾患後遺症を患っておられ、気管切開・酸素投与・高力口リ輸液・経管栄養法などの医療処置を必要とされています。また意思の疎通や自力での体動が難しい患者さんがほとんどで、介護度も高く、平均在院日数が 270 日を越えるほど長期入院の方も多くおられます。

スタッフは、安全と安楽を念頭にスタッフ間の連携を密にし、より質の高い患者サービスの提供ができることを目標に毎日の看護・介護にあたらせていただいています。患者さんやご家族が安心して療養生活を送れるよう笑顔とチームワークを大切に頑張りますので、ご指導をよろしくお願い致します。

看護師長 高橋 美由紀



外来

看護師長 梅津 真理子



外来部門では内科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・リハビリテーション科があり、急性期から慢性期の患者さんのあらゆる状態を一般外来、訪問診療で対応しています。外来は常に診察への糸口となるところであり、短期の通院患者様に、入院への導入、退院後のケア、慢性疾患の定期的診療を行い社会復帰や健康生活への援助活動をし、地域や職場での健康診断、精密検査や成人病予防健診など多岐にわたる診療を行い看護師は患者さんと医師の間にあって診療を円滑にし診療に対する患者さんの受け入れ状態を細かく多面的にとらえて必要な指導と援助を行っています。特に訪問診療においては現在 90 名の患者さんを 2 週間に 1 回在宅へ訪問しています。訪問診療は、地域別に曜日を定め、家族の条件、ショートステイ・デイケア等のサービス利用状況を踏まえ、曜日・時間を決定し移動時間を含め半日の訪問診療件数は 8 戸、診療人数は 12 人までを目安とし地域に密着し、きめ細やかなサービスを行っております。



～頭痛のお話～

副院長
医師 真辺 和文

いわゆる「頭痛持ち」の方は日本全国で 2,000 万人とも 3,000 万人とも言われています。

頭痛は大きく症候性頭痛と機能性頭痛に分けられます。

症候性頭痛は明らかな原因があってその結果として起こる頭痛です。頻度的には機能性頭痛よりずっと少ないですが、①今までに経験したことのない急激に起こる激しい頭痛、②徐々に悪化する頭痛、③ぐったりとしてしまう頭痛などは、中にくも膜下出血、脳腫瘍、髄膜炎といった緊急の治療を要する場合がありますので、受診しましょう。

機能性頭痛は原因がはっきりしない頭痛で、頭痛の大半を占めています。このうち片頭痛（偏頭痛）と緊張型頭痛が代表的なものです。

片頭痛は頭部の比較的太い血管が拡張したときに感じる痛みです。「ズキズキ」「ズキンズキン」と表現される拍動性の痛みで、頭の片側で感じる事が多く、目の前が光ったり、暗くなったりという前触れがあることもあります。きちんと診断すれば、最近では発作時の治療薬、発作予防薬を工夫することにより痛みをかなり軽減できます。

緊張型頭痛は慢性頭痛のなかで最も多い頭痛です。「締めつけられるような」「重い」と訴える方が多いです。同じ姿勢（特に座ってうつむくような）を長時間とることが多く、ストレスが貯まっていて、肩、首が凝るという方の頭痛はおそらくこれでしょう。ストレッチなどでリラクセスすることにより軽減できます。お薬の効果も期待できます。

どのような頭痛でも症状だけで診断を下すことは困難です。頭痛を感じたら、一度診察を受けて、必要に応じて MRI などの画像診断を受けて異常が無いことを確認することをお勧めします。

頭痛（特に慢性頭痛）の治療にあたっては根気強く続けることが大事です。薬にしても色々なものがありますので、「この病院でもらった薬は効かなかった」と諦めてしまうのではなく、医師に「あの薬は効かなかったけど、どうしようか。」とよく相談し、医師と共に自分に合った方法、薬を見出す努力をしましょう。また、頭痛を訴える方の中で、精神的なストレスが頭痛の原因になっていたり、逆に頭痛のために精神的に落ち込んだり、不安になったりすることもよくあります。人（医師を含めて）に話をするだけでも頭痛の感じ方は違うと思います。

「あなたの頭痛」は黙っていては決して「あなた以外の人」にはわかりません。
一人で悩まず、ご相談ください。



院内研究発表会



6/25 院内にて院内研究発表会を開催いたしました。第 4 回ということで年々、発表内容のレベルが上がってきています。

今回の演題は 5 題で、5・4・3 階の各病棟、外来、薬剤科が発表いたしました。



地域連携室の紹介



医療機関の皆様には、平素より大変お世話になっております。

当院の地域連携室では、地域の医療機関・福祉施設との連携を図り、紹介患者様の受け入れ及び、退院支援を行っております。

また、患者様に必要な社会保障制度の説明、手続き等も行っております。

いつでもご相談下さい。お待ちしております。



大土井

平松医師

福士



診療科目

内科 外科
脳神経外科
リハビリテーション科
整形外科
形成外科

診療時間

午前 9 : 00 ~ 午後 12 : 30
午後 2 : 00 ~ 午後 6 : 00
診察終了 15 分前までに受付を済ませて下さい。
※救急の場合はこの限りではありません。
(日曜・祝日も診療いたします)

病床数 101 床

一般病棟 31 床 (亜急性期病棟 10 床)
回復期リハビリテーション病棟 34 床
医療療養病棟 36 床
通所リハビリテーション 40 名
福山記念病院 居宅介護支援事業所

当院で可能な検査

・レントゲン・CT・MRI・胃内視鏡・心電図・大腸ファイバー・脈波図
・嚥下造影検査・呼吸機能検査・エコー(心臓、腹部、頸動脈)
※各種検診及び 2 次検診など
訪問診療・訪問リハビリ・訪問看護も積極的に行っております。
産業医活動についてもお気軽にお問い合わせ下さい。



リハビリ室



ロビー



通所リハビリテーション

診療担当医一覧表

	月	火	水	木	金	土
第1診察室	大井	板阪	大井	大井	大井	大井
第2診察室	土石川	藤井	土石川	藤井	土石川	藤井
第3診察室	奥坊		奥坊	津田	奥坊	
第4診察室	真辺	平松	平松	真辺	平松	真辺

◆ 福山記念病院 福山市港町一丁目 15 番 30 号



◆ アクセス :

JR 福山駅より車で 10 分 バスで 10 分
福山駅前 4 番乗場→港町 1 丁目バス停下車

関連施設

紅萌会グループは、広島県福山市を中心に医療・福祉事業を展開しております。



介護老人保健施設 ビーブル春秋苑
入所・短期入所 70 名
通所リハビリテーション 40 名
グループホーム春 2 ユニット 18 名
広島県福山市王子町一丁目 4 番 5 号
TEL/084-928-5800
FAX/084-928-7550



介護老人保健施設 ビーブルかなべ
入所・短期入所 62 名
通所リハビリテーション 20 名
グループホーム小春 1 ユニット 9 名
広島県福山市神辺町川南 547 番 7 号
TEL/084-960-0881
FAX/084-963-0884



介護老人保健施設 ビーブル石神三和
入所・短期入所 77 名
通所リハビリテーション 30 名
居宅さんわ・訪看護の里
広島県神石郡神石高原町小島 1500-1
TEL/0847-89-3030
FAX/0847-89-3031